

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	協働まちづくり「安曇野まちなかカレッジ」事業
事業主体 (連絡先)	安曇野ふるさとづくり応援団 安曇野市穂高柏原 1132-2
事業区分	(1) 地域協働の推進に関する事業 (5) 環境保全・景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	961,155 円 (うち支援金 : 630,000 円)

事業内容

1. 調査研究
平成24年度の提言に基づき、旧保高宿の資料収集と2回のまちなかカレッジでの情報発信等を行い、その結果を実践の記録としてまとめた。
2. 広報啓発
平成25年9月にの公式サイトとfacebookページを開設し、情報共有と情報発信を行った。
3. まちなかカレッジ
2回のまちなかカレッジを開催した。
2013 秋 10月5～27日 計33講座
2014 冬 2月1～23日 計30講座



※1 自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

「旧保高宿・今後のまちづくりに向けた提言」に盛り込まれたソフト事業に取り組む主体として、21団体による実行委員会を設立。2回のまちなかカレッジ46日間63講座に約600人の市民が参加し、旧保高宿への関心が高まると共に、旧保高宿の歴史的建造物である若松屋への雑貨店の出店へとつながった。

また、県若手職員が設立したSHIPとも連携し、今後の協働まちづくりの実践の第一歩とすることができた。

【目標・ねらい】

- 地域景観の育成
- 協働によるまちづくり
- 商業振興による地域活性化
- 観光振興による地域活性化

今後の取り組み

※2 自己評価 (事業効果) 【 A 】

平成26年度は実行委員会が主体となってまちなかカレッジを継続実施すると共に、まちなかカレッジ開催時期以外の情報交流拠点として(仮称)まちなか図書館の開設を検討する。また、中央図書館や教育機関、SHIP等との連携を深め、より一層のソフト事業の一体化を進めると共に、今後行政を巻き込んだハード事業の展開に向けた下地づくりを行っていく。

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70～89%、「C」50～69%、「D」49%以下で示すこと。

※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある